

私は六諭会を代表し、請願第1号土曜授業の中止を求める請願に賛成の立場で討論いたします。

野田市の土曜授業は、当初現場の先生方の反対の声が多数ある中で、子供たちの学力向上を第一の目的に始められました。また、子供たちの土曜日の居場所づくりという意義もあったものと考えております。学校によっては、習熟度別、あるいはグループごとにそれぞれが工夫を凝らして、学力向上を目指し実施されていたように思います。

しかしながら、開始から10年を経て目的も時々で変遷し、その成果は請願に書かれているとおりに言わざるを得ないと思います。

つまり、土曜授業は、その役割を果たすことなく終わりを迎えたと判断すべき時期が来ているのではないのでしょうか。

逆に、今議会の市政一般報告にもありましたが、野田市独自に行っている子ども未来教室は、参加児童やその保護者に行ったアンケート結果では、とてもよかった、僅かながら成績もよくなったと感じるなどと好評であり、学校側からも学習面での成果について、よい成果や少しはよい成果があったとの回答が83%に上っています。

働き方改革が進められる今だからこそ、児童、保護者、学校サイドが三方よしとなる新たな子供たちの学習機会の構築に舵を切る必要があると考えます。

また、私たち大人は、何よりも子供の未来を第一に考え学習環境を整えていかなければなりません。その一方で、野田市の先生方の人事交流がうまくいかない原因の一つに土曜授業があることは言うまでもなく、そしてその影響を最も受けるのは子供たちにほかならないのです。どこかで決断をしなければならないのではないのでしょうか。

私たち六諭会も以前から土曜授業に賛成してきた経緯があります。しかし10年にわたる実施の成果と結果を踏まえ、私たちなりに判断し、昨年10月に市長に提出しました令和6年度予算要望書には、土曜授業の廃止と明記させていただいております。

よって、この請願第1号には賛成いたします。